2021年度　長野県看護協会　新人看護職員研修

**2021年度研修責任者研修**

1.コースの概要

・本研修会は、長野県新人看護職員研修事業実施要綱に基づき長野県看護協会が、長野県の補助事

　業として開催する。

・講習会のプログラムは、新人看護職員研修ガイドライン(厚生労働省)に則り、研修責任者の到達

目標の達成と、研修責任者に求められる能力を養えるよう企画した。

・受講者個々が持つ課題に基づき、各々が目標(課題)達成できるよう主体的に取り組むことで、研修

　で学んだことを実践の場面で活用する。

**研修責任者**：研修責任者は、施設及び看護部門の教育理念に基づき、看護部門の長の責任の下で、新人看護職員研修に関する企画・運営・実施・評価の全ての過程における責任者である。

2.目的

研修責任者が、新人看護職員研修ガイドライン（改訂版）に示されている新人看護職員研修の企画・運営・実施・評価を行うために必要な技能を習得し、所属施設における研修実施体制を構築することができる。

3.到達目標

１．新人看護職員に対する研修計画、具体的な研修プログラムに関するさまざまな意見や課題を集約し、新人看護職員に対する研修計画、具体的な研修プログラムを策定することができる

２．研修の進捗管理及び問題解決ができる

３．研修の結果を評価することができる

４．教育担当者と実地指導者への教育的・精神的支援ができる

4.対象： 20名

（要件）1．新人看護職員研修ガイドライン（改訂版）で規定された研修責任者としての役割を担う者または今後その任に当たる予定の者

2．（原則）全日程の出席が可能な者

5.講師

1回目：鈴木康美先生（埼玉県立大学）

2回目：舟島なをみ先生（新潟県立看護大学）、松田安弘先生（群馬県立県民健康科学大学）

3回目：舟島なをみ先生（新潟県立看護大学）、松田安弘先生（群馬県立県民健康科学大学））

　4回目：ファシリテーションについて（合同）（平林慶史）

6.留意事項

・各回課題を持って参加し、グループワークで各施設の実践・課題を共有する。

・やむを得ず欠席の場合は、協会担当者に連絡する。

7.プログラム

**（研修責任者・教育担当者　合同研修）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 回 | 日時・場所 | 研修項目・内容 | 講師 |
| 1  回目 | 2月28日（日）  10:00～16:00  大ホール | 1.新人看護職員研修ガイドラインの概要  1)新人看護職員研修に関する考え方や政策動向  2)新人看護職員研修ガイドラインの考え方  2.新人看護職員臨床研修体制の構築と運営  1)新人看護職員研修の運営に関わる体制作りと整備  　教育体制の必要性  2)研修責任者、教育担当者、実地指導者の役割と活動内  容  3)研修責任者・教育担当者・実地指導者の育成  3.新人看護職員研修について留意すべき点  1)看護基礎教育の現状と社会の動向  2)新人看護職員の概要、現状、留意すべき事項  3)組織理念・組織風土・人材育成、新人看護職員の社会  化  4.新人看護職員研修に関わる看護職員のメンタルサポート  5.成人学習の特徴  1)成人学習者の特徴  ２）成人学習者への支援 | 埼玉県立大学  鈴木康美先生 |
| 2  回目 | 6月4日（金）  10:30～16:30  研修室 | 新人看護職員研修（院内研修）の企画立案と運用  1.施設における新人看護職員研修計画の企画立案、運用について  1）施設における新人看護職員に求める能力の明確化  2）新人看護職員研修の教育計画の立案（OJT,off-JTの役割分担を含む）  ・グループワーク | 新潟県立看護大学  舟島なをみ先生  群馬県立県民健康科学大学  松田安弘先生 |
| 3  回目 | 6月11日（金）  10:30～16:30  研修室 | 新人看護職員研修の評価方法と評価結果のフィードバック  1.評価方法について  1）目的別評価方法  2）基準別評価方法  3）評価主体、対象別評価方法  2.最新の研究成果に基づく院内研修の評価  ・グループワーク  3.自施設の教育体制・研修体制をふまえた、教育担当者や実地指導者の育成・支援について | 新潟県立看護大学  舟島なをみ先生  群馬県立県民健康科学大学  松田安弘先生 |
| 4回目 | 7月30日（金） | 教育研修について、自施設の振り返り、課題を評価・修正し、新人研修・院内教育体制を見直す | 群馬県立県民健康科学大学  松田安弘先生 |

【事前準備・指定図書】

1.第1回目：①新人看護職員研修ガイドライン（改訂版）をダウンロードし、当日持参する。事前に目を通してくる。

　　　　　　②ワークシート(2種類)を作成して持参する。自施設の現状、リフレクション用紙

2.第2回目・3回目：舟島なをみ監修、院内教育プログラムの立案・実施・評価(第2版)、医学書院、2015

　　　　　　＊事前に目を通しておいてください。